

# ごだま

## 代え難い家族との触れ合い

私の勤める認知症グループホームでは、昨年2月以来の新型コロナウイルス感染症の中でも、厚生労働省の通知を守りながら、理事長

および管理者の判断で、原則面会禁止とはなっていない。

先日の夕食時、認知症があり食事も全介助の方が、食事中に眠くなられました。何回も声を掛けたり、職員も代わったりしましたが目が開かず、「今日は無理かも」と思っていました。

その時、仕事を終えた娘さんが来られて「こんにちは」とあいさつされた声だけで、目が開いて笑っておられました。娘さんが食事を介助され、全量食べられたのを見て、やはり家族さんの力は大きいと感じました。

友人の働いている施設ではコロナでオンライン面会になっっているようですが、その友人から聞く話だと、画面越しに会っても、それが家族だと分からない方もおられるそうです。

直接会って声を掛けて触れることができるのは、お年寄りさんにとっても家族さんにとっても大切なことだと改めて思いました。